

6-2. 平成20年度千葉県環境計量協会研修見学会を振り返って

千環協・教育企画委員長
戸邊光一郎

1. 研修先 東京臨海リサイクルパワー株式会社 (TRF)
施設名称 : スーパーエコプラント
住所 : 〒135-0064 東京都江東区青海 2 丁目地先
TEL : 03-6327-3190 FAX : 03-5500-1088

(1) 施設の概要

- 1) 設立 平成14年12月19日(2002年)
- 2) 敷地面積 2.9ヘクタール(東京都より購入)
- 3) 資本金 46億円
- 4) 従業員数 51名(平成20年10月3日現在)
24名の2交代制 5名/班で編成
- 5) 事業内容 産業廃棄物処理業、特別管理産業廃棄物処理業
ガス化溶融施設等から生じる電力の販売等
- 6) 出資者 東京電力(株):73%、(株)荏原製作所:12%、
東電環境エンジニアリング(株):7%
清水建設(株):5%、オリックス環境株式会社:3%
- 7) 許可品目 感染性廃棄物、廃プラスチック類、紙くず、木くず、
繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリ
ート・陶磁器くず、廃酸(容器入り)、廃アルカリ(容
器入り)、動植物性残渣(容器入り)ばいじん、燃え
殻、鉍さい、汚泥(脱水後のもの、容器入り)
- 8) 処理設備 産業廃棄物
流動床ガス化溶融炉 275t/日×2系列
感染性医療廃棄物 専用焼却炉 50t/日×2系列
- 9) 発電能力 23,000kw
- 10) 処理能力 産業廃棄物 550t/日
感染性医療廃棄物 50t/日

(2) 施設の特徴

- ①ほぼ全ての廃棄物を扱っているが、廃油は扱っていない。
- ②埋め立てゼロを目指した処理施設を目標にしている。
(現在は容積として100%→2.5%)。
- ③スラグはすべて建設資材会社へ売却。道路の舗装などに使用。鉄・
アルミは金属卸売会社に売却。不燃物・飛灰・焼却灰は最終処分場
へ。
- ④廃棄物の成分としては、塩素含量2%以下(塩ビの量を制限)、硫黄
含量1%以下不燃物は20%以下のものを対象としている。

- ⑤ダイオキシンの分析は2回/年行っている。
- ⑥医療系のゴミは冷蔵自動倉庫（10℃）に保管している。焼却困難な医療廃棄物に対して完全燃焼・完全滅菌を経済的に可能にしたバーチカル炉を採用。医療廃棄物の処理設備は50t/日×2系列有しているが、現在は1系列のみで対応し、都内の医療廃棄物の2/3を処理している。（他の1基は不測の事態に備えている）
- ⑦ゴミから電気を発電23,000kw。場内で6,000kwを使用し、残り17,000kwは東京電力㈱に売却（55,000世帯分に相当）。
- ⑧施設のメンテナンスに要する日数は、50日/年。
- ⑨経済産業省より「新エネルギー等発電設備（R P S）」に認定。バイオマス発電。（認定番号B 0 0 0 8 7 7 C 1 3）
- ⑩経済的かつ効率的に廃棄物管理が行えるシステムを開発。（TRP式廃棄物管理システム、電子マネーフレスト採用）

2. 研修先 サッポロビール千葉工場
 住所 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町2番
 TEL : 047-437-3591

(1) 施設の概要

敷地面積 17万2,000㎡
 緑地面積 4万8,900㎡
 竣工 1988年6月20日
 従業員数 120人 三交代勤務

(2) 施設の特徴

- ①ビールの原料は、麦芽・ホップ・水。麦芽とホップは100%協働契約栽培である。水は「磨き上げられた水」と称し、膜処理やイオン交換処理を行っている。
- ②工場で発生する廃棄物・副産物は100%資源化されゴミゼロを達成している。麦汁を製造した後に残る麦芽の皮などは飼料や肥料に、破損したビール瓶は製びん原料に再利用される。
- ③工場廃水は嫌気発酵による排水処理で浄化すると、副産物のバイオガスを回収することができる。このガスを工場内の燃料として再利用している（2,500軒の家庭で使用する年間のガス量に相当）。
- ④2000年に太陽光発電装置を設置し、得られた電力はビール製造に使用している（発電状況を表示板で表示）。

余談 「ビールのうまい飲み方」

- ①飲み頃の温度は6～8℃。夏はやや低め、冬はやや高めに。
- ②グラスは洗剤で丁寧に洗い、よくすすぎ、逆さに伏せて自然乾燥。
- ③グラスの形状は、グラスの口径と高さの比1：2がベスト。
- ④ビールの注ぎ方は、はじめは少し勢いよく、泡が立ったらいったんストップ。次に泡を持ち上げるようにゆっくり注ぎ、最後は静かに

泡を縁から盛り上げるように注いでフィニッシュ。グラスの 30%が泡になるのがベスト。

⑤泡を上唇で押さえて、ビールだけをノドに流し込むように飲む。

3. 感想

本年度の研修見学会は都内の施設での研修ということで、参加人数、道路の渋滞等、当日のスケジュールに一抹の不安を感じながらの実施となりましたが、皆様からの多大なる協力を賜り、ほぼ予定通り挙行できたことに感謝いたします。また研修先を決定するに際しましては、本年度より千環協の会長に就任された東電環境エンジニアリング株式会社の武藤様には多大なるご尽力を賜り深く感謝いたします。

今後も皆様が喜んで参加でき、そして有益な研修見学会にできるよう最善を尽くしたいと思います。有難うございました。



東京臨海リサイクルパワー株式会社（TRF）での研修



東京臨海リサイクルパワー株式会社（TRF）工場見学（玄関前）



サッポロビール千葉工場